

エコエアポートとは

- 地球環境的視点に立った空港
- 地域環境と共生できる空港
- 循環を基調とする持続的発展可能な空港



- 日ASEAN地域においても空港環境の質を高める政策や対策が重要である。

日ASEANエコエアポート・ガイドライン(EAG)

エコエアポートの進め方

- 空港内事業者等とともに環境に優しい空港を目指した取組を実施するため、「エコエアポート協議会」を設置する。
- エコエアポート協議会は、EAGに基づき実施可能な項目から「空港環境計画」を策定し、これに従い各種環境対策を推進する。

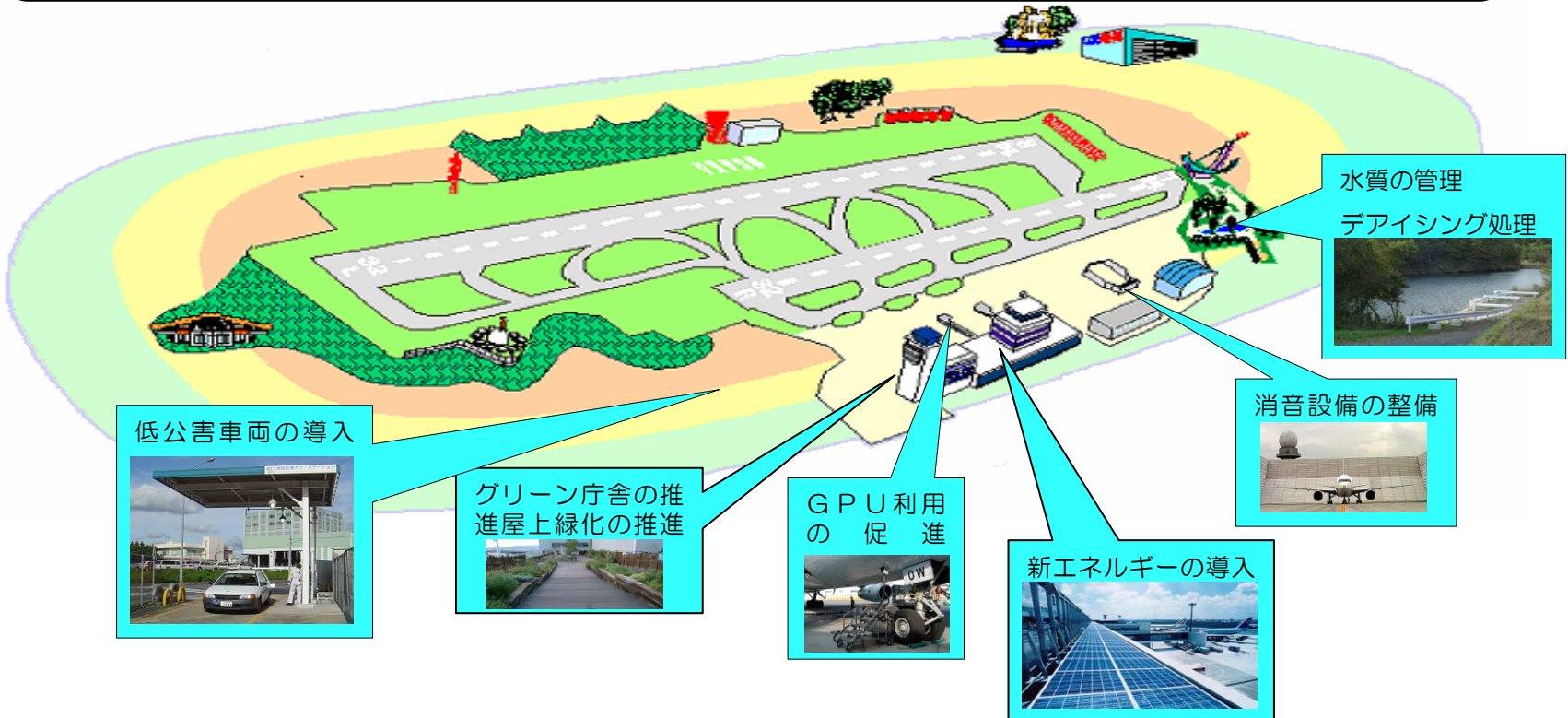
EAGの特徴

- EAGは日ASEAN地域における拘束力を持たない共通のガイドラインであり、各国は適宜修正して適用する。
- 空港環境計画は空港の規模、立地、気候の特性等に配慮し、現実的な実施が可能な環境目標を設定する。
- 環境目標は対象範囲、目標年度及び具体的な環境施策を設定する。

日ASEAN地域における「エコエアポート」の実現

エコエアポートの施策概要

空港環境対策
◆空港の運用に伴い発生する大気汚染物質の削減、水質管理、廃棄物リサイクル、エネルギーの効率化、屋上緑化といった地域環境及び地球環境への負荷削減の取り組みを実施。



- 身近な取組
- 不要な電気の消灯 (Turning off unnecessary lights)
 - アイドリングストップ (Idle stop)
 - 節水 (Water saving)
 - ゴミのリサイクル (Waste recycling)